



KubeCon



CloudNativeCon

Japan 2025

TRANSPARENCY REPORT 透明性レポート

東京 2025



KubeCon + CloudNativeCon Japan 2025

記念すべき第1回の KubeCon + CloudNativeCon Japan 2025を忘れられない体験にさせていただき、ありがとうございました。

登録とスポンサーシップは完売し、アジア、インド、さらにその先から参加者が集まり、この地域におけるクラウド ネイティブとオープンソース技術の勢いを示しました。

開発者、メンテナー、エンドユーザー、技術者が一堂に会し、アイデアを共有し、イノベーションを祝い、クラウド ネイティブの未来について議論する様子を見ることは素晴らしいことでした。AI、オブザーバビリティ、セキュリティ、プラットフォーム エンジニアリング実践を取り上げた基調講演から、高度な技術セッションやプロジェクトのメンテナーによるミートアップまで、皆さまの情熱と協力がエコシステムを形成する上で大きく貢献していることは明確です。皆様とともにこの未来を構築できることを光栄に思い、来年また皆様にお会いできることを楽しみにしています。



Chris Aniszczuk, CTO CNCF

 **746**

プロポーザル提出数

 **59**

Dan Kohn Scholarship Fund による参加者

 **23**

メディア報道数

 **66%**

初参加者率



参加者概要

東京では1,500人を超える方々が参加され、コミュニティの大規模な集いが実現しました。

1,502

参加申込数

98%

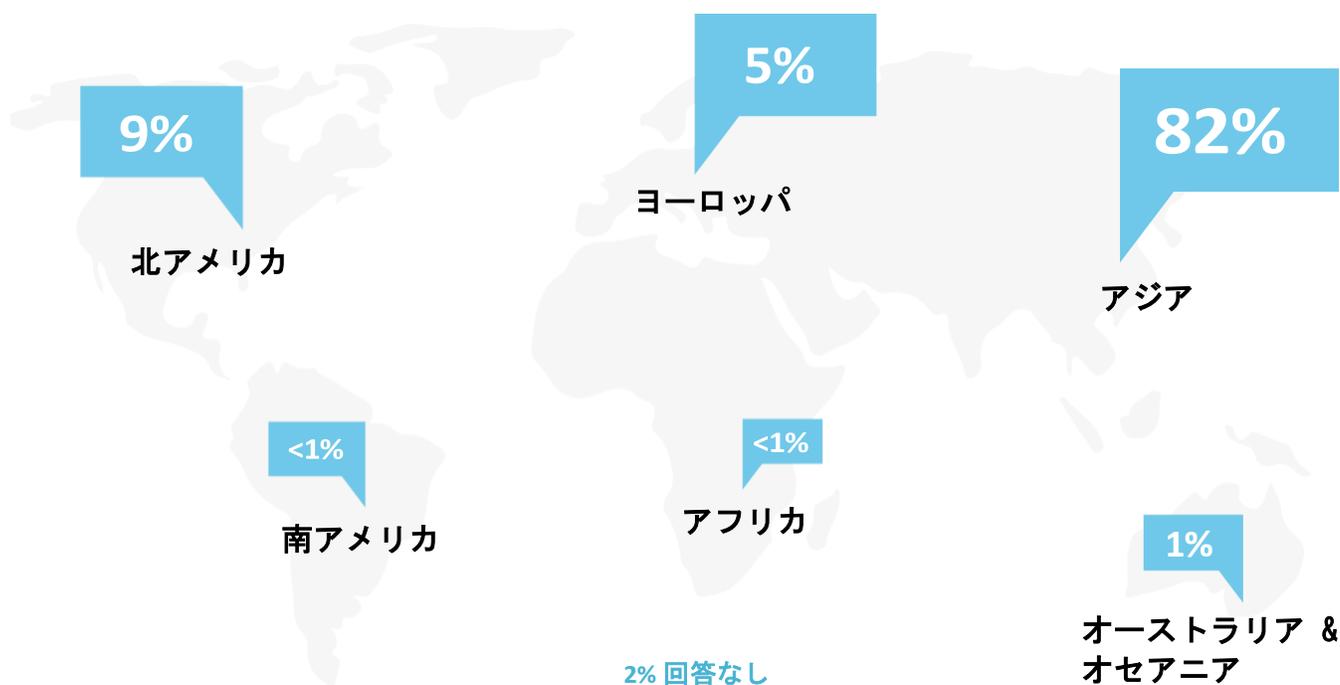
参加率

471

参加企業数



参加者の地域分布



参加者数の上位5カ国



上位の3職種

DEVOPS/SRE/システム管理者

開発者

アーキテクト

チケット種別

2025	
合計	1,502
オールアクセス参加者	59%
オールアクセス参加者 (個人・アカデミック)	17%
スピーカー	8%
スポンサー	15%
メディア	1%

コンテンツ

KubeCon + CloudNativeCon Japan 2025のコンテンツは、カンファレンス共同議長であるCyberAgent, Inc. Senior Software Engineer の Masaya Aoyama 氏、IBM Research Staff Research Scientist の Sunyanan Choochootkaew 氏、Hitachi, Ltd. Engineer の Masaki Kimura 氏のリーダーシップの下で作成されました。彼らは56名で構成される専任のプログラム委員会を率い、746件の応募を審査し、多様性・関連性・品質を重視したプログラムを丁寧に編成しました。最終的なラインナップは、あらゆる技術的背景の参加者にとって魅力的な内容となりました。

すべての講演は、厳格で偏りのない審査プロセスを通じて選ばれました。確立されたCFPスコアリングガイドラインと透明な選定基準に従い、提出物はプログラム委員会メンバーの専門分野に応じてランダムに割り振られました。

主要統計

KubeCon + CloudNativeCon Japanでは、71のセッションが講演されました。入門セッションから高度な専門的技術まで、多様なトピックのラインナップを取り揃えました。講演は[YouTubeプレイリスト](#)で今すぐご覧いただけます。



746

プロポーザル提出数



13

基調講演

(スポンサー基調講演を含む)



56

プログラム委員会のメンバー

6%

プロポーザル採択率

46

CFP ブレイクアウト
セッション

112

スピーカー

12

メンテナー
トラック セッション

19%

ジェンダー
マイノリティスピーカー

9.2 / 10 セッションの評価

KUBECON + CLOUDNATIVECON JAPAN 2025
共同議長に感謝します



Masaya Aoyama
Senior Software Engineer,
CyberAgent, Inc.



Sunyanan Choochootkaew
Staff Research Scientist, IBM Research



Masaki Kimura
Engineer, Hitachi, Ltd.

CO-LOCATED イベント

CNCFが6月13日に開催した [KeycloakCon Japan](#) は満員御礼となりました。アイデンティティとアクセス管理 (IAM)のオープンソースソフトウェアである「Keycloak」のコミュニティメンバーが集まり、知見や最新情報、実際の使用例を共有しました。講演は[YouTubeプレイリスト](#)で今すぐご覧いただけます。



HALF-DAY, 1 TRACK

30

CFP SUBMISSIONS

116

REGISTRATIONS

SPONSORS

Platinum

HITACHI

Networking Reception

NRI

 **Julia Furst Morgado** · 2nd
Polyglot International Speaker | AWS Container Hero | CNC...
2w · 🌐

+ Follow ...

KubeCon Japan 2025 has started and it's completely sold out! 🎉🔥

Couldn't be more excited to be here! Already ran into so many familiar faces this morning (feels like another family reunion). We started the day with the CNCF Ambassadors & Kubestronauts breakfast, followed by the keynote.

We've got two full days ahead, packed with talks, hallway chats, amazing Japanese food and lots of fun! 😊



+4

 **Sadhana Panthi** · 2nd
GitHub Campus Expert | Seeds For The Future 2024| Gol...
3d · 🌐

+ Follow ...

🌟 Grateful to have attended KubeCon + CloudNativeCon Japan 2025 in Tokyo! One of the biggest highlights was connecting with other women in tech during the Women's Meetup. As a student, it was both humbling and motivating to hear the stories of women professionals [Carla Gaggini](#), [Aoi Takahashi](#), [Supriya Aggarwal](#), [Elena Bucataru](#), Miranda Jaramillo from Italy, Japan, India, Romania, and Mexico.

Also met a fellow student who was a speaker at the event, [Suhyen Im](#), from South Korea, which gave me the push to start planning my own CFP journey for future conferences! 🍷

And the first person I met at the conference, [akihiro okuda](#) from Japan, made the experience even more memorable. I truly cherish the friendship we built there.

I'm really thankful to [Cloud Native Computing Foundation \(CNCF\)](#) for providing me the travel support, the opportunity, and the community 💙

#KubeCon #CloudNativeCon #WomenInTech #OpenSource #Kubernetes #TechConference #Tokyo2025 #StudentInTech



プロジェクト エンゲージメント



15プロジェクト テーブル・7プロジェクト ライトニング トーク 13メンテナー トラック セッション

KubeCon + CloudNativeCon Japan 2025は、参加者がCNCFプロジェクトやメンテナーと交流する有意義な機会を数多く提供しました。

Maintainer Meetup では、CNCFのメンテナーが集い、ベストプラクティスを共有し、コントリビューションのワークフローを改善し、共通の課題に協働で取り組みました。また、5分間のプロジェクト ライトニング トークも開催されました。各プロジェクトが最新のアップデート、新機能、主要なマイルストーンを簡潔で分かりやすいプレゼンテーションで紹介しました。

メンテナー トラック セッションでは、参加者がより深く掘り下げる機会も提供されました。これらのセッションでは、CNCFプロジェクトの舞台裏が紹介され、プロジェクトリーダーからの貴重な視点が共有されるとともに、コミュニティメンバーと各分野の専門家の間での協力が促進されました。

プロジェクトパビリオンでは、参加者がプロジェクトメンテナーと直接交流できる場が設けられました。このスペースでは、オープンな会話、技術的な議論、アイデアの共有が促され、クラウドネイティブエコシステムを形作る技術についてより深く学ぶための活気あふれる場所となりました。



包括性とアクセシビリティ

CNCFは、性別、性自認、性的指向、障害、人種、民族、年齢、宗教、経済状況に関係なく、KubeCon + CloudNativeConに参加するすべての人が歓迎されていると感じられるよう努めています。

友好的で歓迎的、そして包括的な環境を育むという私たちの姿勢は、イベントで提供する設備やサービスにも反映されています。東京では、以下が用意されました：

- 休憩室・祈祷室
- ベビーケアと授乳室
- 参加者の性自認に基づく代名詞や対話希望度を示すステッカー
- 無料の会場内託児サービス
- 基調講演とブレイクアウトセッションでの字幕提供

CHAOSS D&Iイベントバッジ



CNCFは、多様性の受容とアクセシビリティの優れた取り組みが評価され、CHAOSS Badging Initiative (<https://chaoss.community/diversity-and-inclusion-badging/>) からゴールドバッジを授与されました。

包括性とアクセシビリティの関連イベント

包括性とアクセシビリティを重視する姿勢の一環として、Women's Community Gathering が開催されました。これは、女性、ノンバイナリー、またはアライ（支援者）として自認する参加者が、急速に成長するエコシステムにおける課題、リーダーシップの革新、エンパワーメントについて、他の参加者とオープンに議論する場となりました。また、CNCFやプロジェクトのメンターと参加者が小グループで交流する Peer Group Mentoring も提供されました。

# Women's Community Gathering 参加者数	31
# Peer Group Mentoring + Career Networking メンター数	5
# Peer Group Mentoring + Career Networking メンティー数	7

スカラーシップ

Dan Kohn Scholarship Fund は、59名の申請者にイベントへの参加機会を提供しました。

# 旅費支援者数	13
# 参加費者支援	34
# スピーカー旅費支援者数	12

日本語, 英語, 韓国語

上位3言語

48

参加者のモバイル端末で Wordly の室内キャプションを使用した合計時間



サステナビリティ

私たちはイベントにおけるサステナビリティに取り組んでおり、KubeCon + CloudNativeCon Japan も例外ではありませんでした。

私たちの会場であったヒルトン東京お台場は、エネルギーと水の節約、廃棄物の削減、また持続可能な交通手段の促進などのサステナビリティへの取り組みを行っています。このホテルでは、飲食事業における持続可能な調達にも力を入れています。

環境に配慮した会場を選んだことに加え、私たちは以下のことを行いました:

- カンファレンスのTシャツとネックストラップを現地で調達しました。
- 100%リサイクルされたポリエチレンテレフタレート製のカンファレンス ネック ストラップを使用しました。
- 参加者の昼食に再利用可能な弁当箱を利用しました。
- 使い捨てのペットボトルの水の代わりに、イベント全体にウォーター サーバーを設置しました。
- 公共交通機関、徒歩、または自転車で容易にアクセスできる会場を選びました。



現地での健康と安全

KubeCon + CloudNativeCon では、以下の健康と安全対策を実施しました:

- 🍷 食物アレルギーへの配慮
- 🗣️ アクセスしやすい安全リソースとヒント
- 🏥 医療、安全、またトラウマに関するリソース
- ⚠️ インシデント透明性レポート:
 - 現地で受け付けた行動規範に関する報告: 0件
 - 医療介入: 0件

スポンサー情報

KubeCon + CloudNativeCon Japan は、スポンサーの皆さまのご支援なしには実現できませんでした。
そして、参加者の皆さまも同意しており、85%がイベント期間中にソリューションショーケースを訪れました。

ブーストラフィック	合計
オンサイトでのリード合計	6,065
ブースごとのオンサイトでのリード平均	178

2025	
ダイヤモンド	0
プラチナ	4
ゴールド	13
シルバー	20
スタートアップ	3
エンドユーザー	0
Marketing Opportunities	2
TOTAL UNIQUE SPONSORS	42

プラチナ スポンサー



ゴールド スポンサー



[すべてのスポンサーに感謝申し上げます。](#)

メディアとアナリストの報道

主要統計

16

メディア +
アナリスト

参加者数

23

報道および
アナリスト

取材件数

2

プロジェクト発表

HAMi & Kairos

2

CNCF
プレスリリース

Tokyo Gas Wins
CNCF End User
Case Study Contest
& Kubestronaut
Momentum in Asia

3

LINUX
FOUNDATION

プレスリリース

8つのメンバーおよびスポンサーが10個の発表を行いました

3>SHAKE



dash0

Google Cloud



Grafana Labs

HITACHI



メディア報道のハイライト

- Cloud Watch、Gihyo.jp、Publickey、@ITを含む、現地のメディアによる 23 件の報道がありました。
- これらの記事は、クラウドネイティブと Kubernetes への関心の高まり、また Linux Foundation の「State of Tech Talent Japan Report」を取り上げました。

記事ハイライト

- [Publickey](#)—[日本初開催の「KubeCon+CloudNativeCon Japan 2025」が開幕。1500 枚のチケットはソールドアウト](#)
 - 基調講演に登壇した CNCF の Chief Technology Officer (CTO) Chris Aniszczyk 氏は、用意されていた 1500 枚の参加チケットとイベントのスポンサー枠がいずれも売り切れとなったことを明らかにし、クラウドネイティブへの注目が日本で予想以上に高まっているとしました。
- [Gihyo.jp](#), [Kazumichi Takahashi](#)—[日本企業のオープンソース/クラウドネイティブへの関心の高まりと、CNCF のこれまでと現在](#)
 - Aniszczyk 氏は、設立 10 周年を迎えている CNCF は成長を続けていることを強調しました。Kubernetes は歴史が 11 年にもかかわらず、30 年以上の歴史を持つ Linux に匹敵する勢いのあるプロジェクトであり、貢献という点では Linux に次ぐ勢いであると述べ、それが個人的な喜びでもあると言います。
- [Cloud Watch](#), [Masakazu Takahashi](#)—[CNCF アニシュチュク CTO、クラウドネイティブや Kubernetes への関心の高まりをアピール](#)
 - メンバー企業は 750 社以上集まり、プレミアムメンバーにはハイパースケーラーなども参加している。日本からは日立や富士通、NEC などがゴールドメンバーとなるなど、24 社が参加しており、2019 年から 60% 増加ということで、「日本のメンバーが増えているのは非常にうれしい」と Aniszczyk 氏は語った。

東京での素晴らしいイベントを振り返り、お楽しみいただけただけでしょうか。
8月のハイデラバード、または 11月のアトランタでお会いしましょう！
今後のイベントについては、[カレンダー](#)をご確認ください。

ご意見やフィードバックは events@cncf.io までお寄せください。





CLOUD NATIVE COMPUTING FOUNDATION

この素晴らしいイベントのすべての側面を正確に報告するよう努めました。どのような素晴らしいイベントでも、時間とともに変化があります。メディア報道が増加し、オンラインビューが増えるなどです。そのため、このレポートのデータを使用される場合は、必ず2025年7月の発行日を明記してください。ご質問がある場合や、今後1年間で更新された統計情報が必要な場合は、お気軽にお問い合わせください。Cloud Native Computing Foundation 発行。

翻訳協力：岡本泰典